

看護師国家試験の概要

- 看護師国家試験は、看護師として必要な知識及び技能について問うものである。
- 毎年約 5 万人が看護師国家試験を受験しており、合格者には看護師籍への登録を経て看護師免許証が交付される。従って、適切な医療・看護の実践と医療安全の確保のため、国家試験の質を保証することが求められている。

1. 看護師国家試験について

看護師国家試験は看護師として必要な知識及び技能について行う(保健師助産師看護師法第 17 条)。

2. 試験科目

(保健師助産師看護師法施行規則第 22 条)

- 人体の構造と機能
- 疾病の成り立ちと回復の促進
- 健康支援と社会保障制度
- 基礎看護学
- 成人看護学
- 老年看護学
- 小児看護学
- 母性看護学
- 精神看護学
- 在宅看護論
- 看護の統合と実践

3. 出題数及び問題形式

- 総数は 240 題で、必修問題 50 題、一般問題 130 題及び状況設定問題 60 題から成る。
- 写真などの視覚素材による問題も含む。
- 客観式、多肢選択式による。(記述式の出題はない)

4. 試験問題の作成

保健師助産師看護師試験委員により作成(保健師助産師看護師法第 23 条)。

5. 過去 3 年間の看護師国家試験結果

	第 98 回 (H21 年 2 月 22 日)	第 99 回 (H22 年 2 月 21 日)	第 100 回 (H23 年 2 月 20 日)
受験者数	50,906 名	52,883 名	54,138 名
(EPA に基づく看護師候補者)	82 名	254 名	398 名
合格者数	45,784 名	47,340 名	49,688 名
(EPA に基づく看護師候補者)	0 名	3 名	16 名
合格率	89.9%	89.5%	91.8%
(EPA に基づく看護師候補者)	0%	1.2%	4.0%